

2008 年 4月14日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2008年4月15日】

団体名 特定非営利活動法人ナチュラルフェローズ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

地域の森を知ろう、伝えよう

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

狭山丘陵に代表される都市近郊の「森」は、現在、開発・放棄により、減少、劣化が著しくなっています。かつてこれらの森は生活と密接に関わっていましたが、現在は地域住民生活とは関係が薄いものとなり、人々の無関心化も進んでいます。このような情勢の中で再度、森との関係を見つめ直す必要があると感じています。

温暖化対策・ヒートアイランド現象の緩和装置として森は見直されてきていますが、森とどう付き合うかについて、自分なりの考えを持たない人が多いことに気づきました。そこで、「森を知る、自分なりの視点・楽しみ方を持つ」、「森のこと、自分の思いを人に伝える」の2点について参加者に考えてもらい、再び森が生活の一部となることを目的としました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

場所:狭山丘陵(八国山緑地周辺) スタッフ:3人 募集人数:15人

スケジュール:第1回5月26日、第2回7月22日、第3回11月11日

10:00~10:30 オリエンテーリング、10:30~12:00 プログラム実施、12:00~振り返り、12:30 解散

視点の取り方、写真の撮り方、森、思いについてオリエンテーリングで課題を提示し、自然体験プログラム、ネイチャーフォト体験、メッセージづくりを行いました。第1回と第3回に野外撮影をし、その変化を感じてもらいました。

写真は当法人 HP 内にギャラリーを設置し、発表するとともに、写真集を作成し配布しました。

備考:カメラは各自用意、フィルム(リバーサル)は配布

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回のプロジェクトでは、カメラを使って森を撮影しましたが、カメラは単にひとつのツールであって、写真をきれいに撮る、うまく撮ることがメインではありません。したがって、森での撮影ではただ写真を撮ればよいのではなく、写真に自分の伝えたいメッセージをこめることが重要であることを強調しました。そのため、自然に対し視点を変えて見る方法を体験し、それを活かして自分なりの視点で撮影をしてもらうという点を工夫しました。その結果、カメラを通して、じっくりと自然を観察することによって、自然への見方、捉え方に変化が感じられ、参加者と森との関係づくりの第1歩となったことが効果として期待できます。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今回は、写真という個人の作品があるため、それを通して参加者の変化がよくわかります。作品は、私たちの期待以上で、こちらが意図していたことを理解していただいたこともよくわかりました。結果として、とても良い写真集ができたのではないかと考えております。また、プログラムへの参加意欲も素晴らしく、中には第1回目にはカメラを持っていなかった方が、第3回ではわざわざこのプログラムのためにカメラを買ってきて、参加してくださいました。私たちにとって、この上なくうれしい出来事でした。今後は、今回のプロジェクトをきっかけとして参加者のみなさんが継続して、自分なりの森や思いを発信して欲しいと願っております。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

